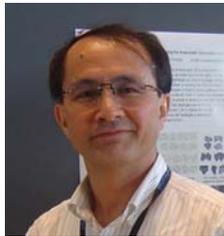


整理番号	HT25137	分野	工学、歴史	(キーワード)3次元CG、自動生成
------	---------	----	-------	-------------------

## 岐阜経済大学

### かつてあった古代の建物を3次元コンピュータ・グラフィックスで復元してみよう

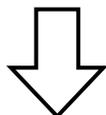
先生(代表者)	杉原健一(すぎはらけんいち) 経営学部情報メディア学科・教授				
自己紹介	<p>大手電機メーカーのマイコンの技術者として、勤めた後、教員に転向。GIS(地理情報システム)とCGを統合化して、「遺跡の復元」や「防災まちづくり」に役立つ「3次元都市モデル」を自動的に作るシステムの開発に取り組み、それに成功しました。大手コンサルタント企業2社と特許契約を結び、「商品化」されました。また、ハリウッド映画のCG制作者が発表する、CGのオリンピックといわれる Siggraph (シーグラフ)でも、4回発表しました。</p>				
開催日時・主な募集対象	平成25年8月18日(日曜日)	(対象)	高校生	(人数)	20名
	平成25年9月7日(土曜日)		高校生		20名
集合場所・時間	岐阜経済大学9号館2階 スタジオ実習室		(集合時間)	9:30	
開催会場(集合場所)	岐阜経済大学9号館2階 スタジオ実習室 住所:〒503-8550 岐阜県大垣市北方町 5-50 アクセスマップ: <a href="http://www.gifu-keizai.ac.jp/outline/location/index.html">http://www.gifu-keizai.ac.jp/outline/location/index.html</a>				
内 容					
<p>映画やゲームの3次元コンピュータ・グラフィックス(3DCG)を自分で作ってみませんか。壮大な遺跡の前に立って、かつてどんな建物が立っていたか想像してみよう。当時、高いビルのない時代に、ここには天にそびえる七重の塔が立っていて、たくさんの人が参拝に來たんだって。3DCGでそれを作ってみましょう。「自動生成システム」が、手のかかる制作作業を自動的に行います。最先端の「3DCGソフト」と「自動生成システム」はすごいぞ。</p>					
スケジュール				持 ち 物	
<b>【第1回】8月18日(日)、【第2回】9月7日(土)とも同一日程・内容</b> 9:30~10:00 受付(岐阜経済大学 9号館 2階スタジオ実習室) 10:00~10:30 開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明) 10:30~12:00 【講義】「3次元コンピュータ・グラフィックスの基礎」と「地元の美濃国分寺の復元」(講師:杉原 健一) 「中国 西安 大明宮の歴史と復元」(講師:崔 宇) 12:00~13:00 昼休み(昼食、お茶) 研究者などとの交流 13:00~15:30 【実習】スタジオ実習室にて、3Dモデルの制作実習(講師:杉原 健一)、プログラムによる3Dモデルの自動生成の実習(講師:佐々木喜一郎) 15:30~16:00 修了式(アンケート記入、未来博士号授与) 16:00 終了・解散				筆記用具、その他あればUSBメモリ。作った3DCGの作品を持って帰って下さい。	
				特 記 事 項	
				3次元CGソフト(3ds MAX)は英語表記になってしまう可能性が高いのですが、TA(ティーチング・アシスタント)がやさしく教えます。	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	〈総務課〉安田 天、梅原 慶子
住所：	岐阜県大垣市北方町5-50
TEL 番号：	0584-77-3505
FAX 番号：	0584-81-7807
E-mail：	soumu@gifu-keizai.ac.jp
申込締切日：	【第1回】平成25年8月8日(木)、【第2回】平成25年8月30日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
杉原健一	2010 ~ 2012	基盤研究 (C)	22560537	Web ベースの遺跡等の 3D モデルを 自動生成する考古学、まちづくり支援 システム



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。